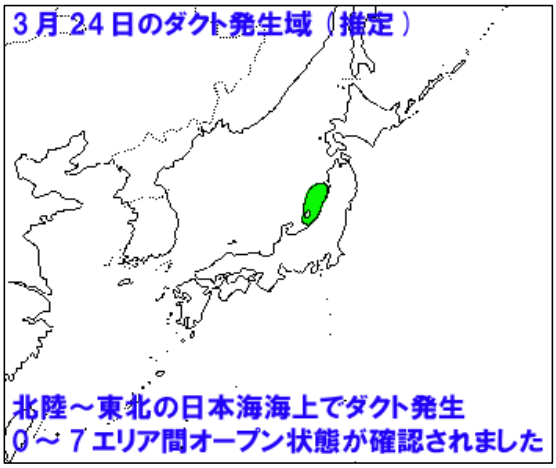
ダクト発生 0ー7エリア間オープン

2007年 3月24日 JG0TEV 中村



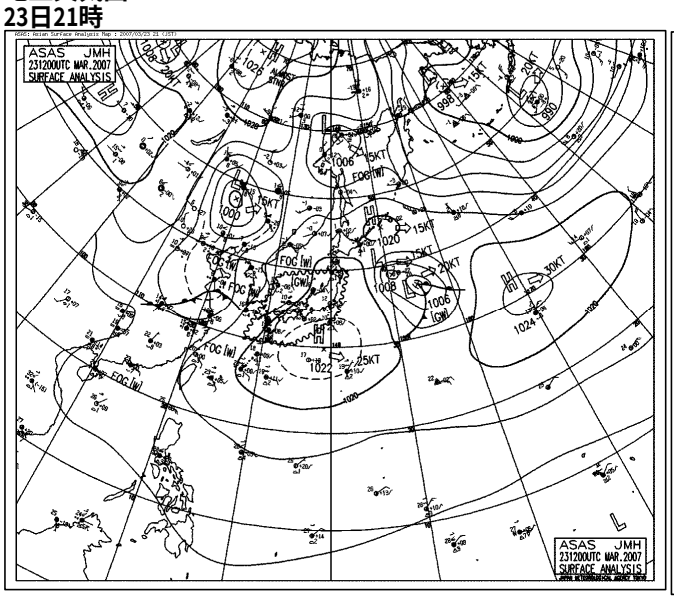
ダクト発生による0～7エリア間オープン状態が確認されました。

8:58 現在、9.26フルスケール
10:55 佐渡がものすごく強い。佐渡ビームで新潟モービルが聞こえます。
17:42 17:00で消滅
(JO71ZC 須藤さん情報)

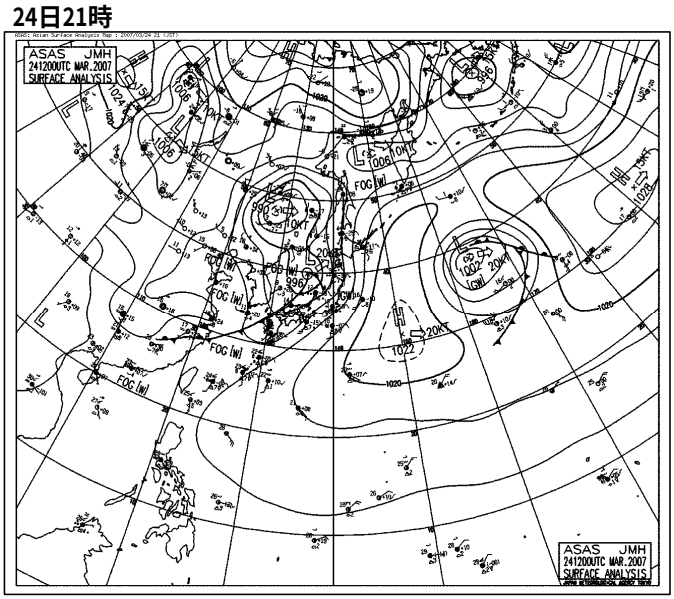
気象解析
この期間は日本付近を移動性高気圧が通過していたことがわかります。
850hpa面解析図をみると、23日夜から24日の日中にかけて 1,440mの等高度線が日本海まで北上していたことが伺えます。
エマグラムから23日の夜間には輪島の上空に逆転層の形成が確認できます。

地上天気図

23日21時

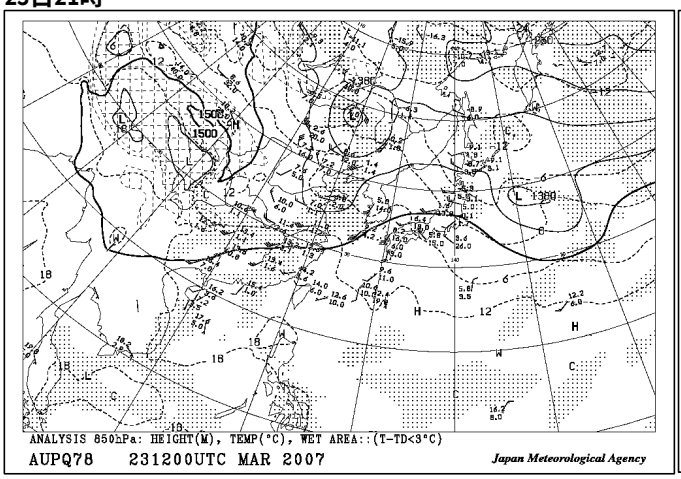


24日21時

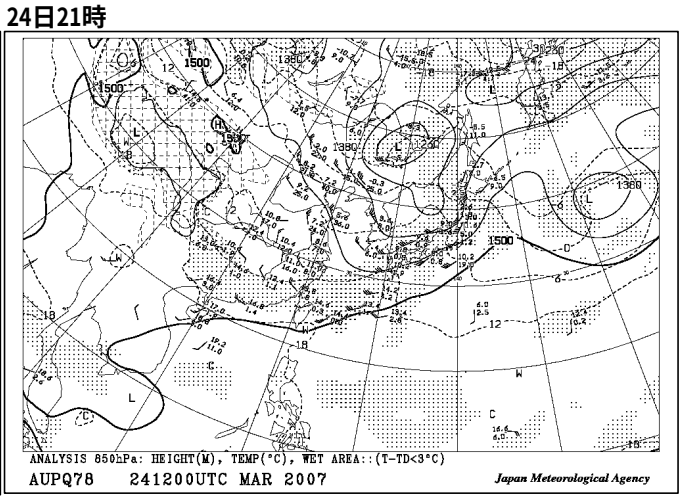


850hpa面高度･気温･湿数

23日21時



24日21時

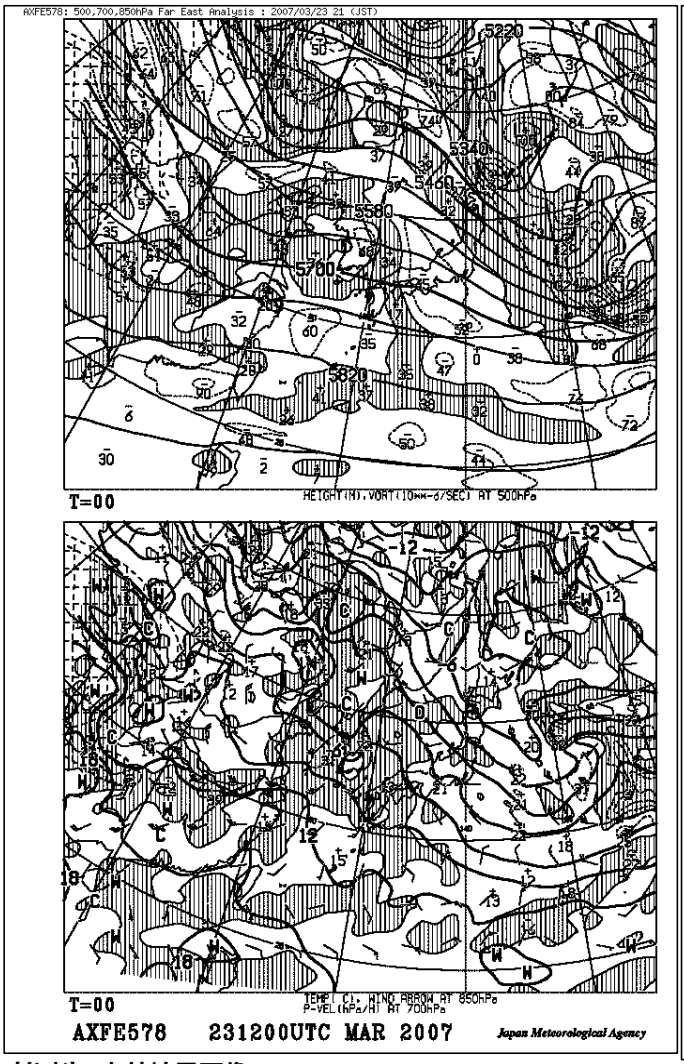


500hpa面解析図から、23日から24日にかけて日本付近をリッジとリッジに伴う負渦度領域が通過したことが読みとれます。
ただし、リッジと負渦度領域の広がりは明瞭さに欠けています。
700hpa面解析図から、日本付近には上昇流域が卓越していますが 23日から24日にかけては暖気移流によって上昇流が卓越したものと推定します。

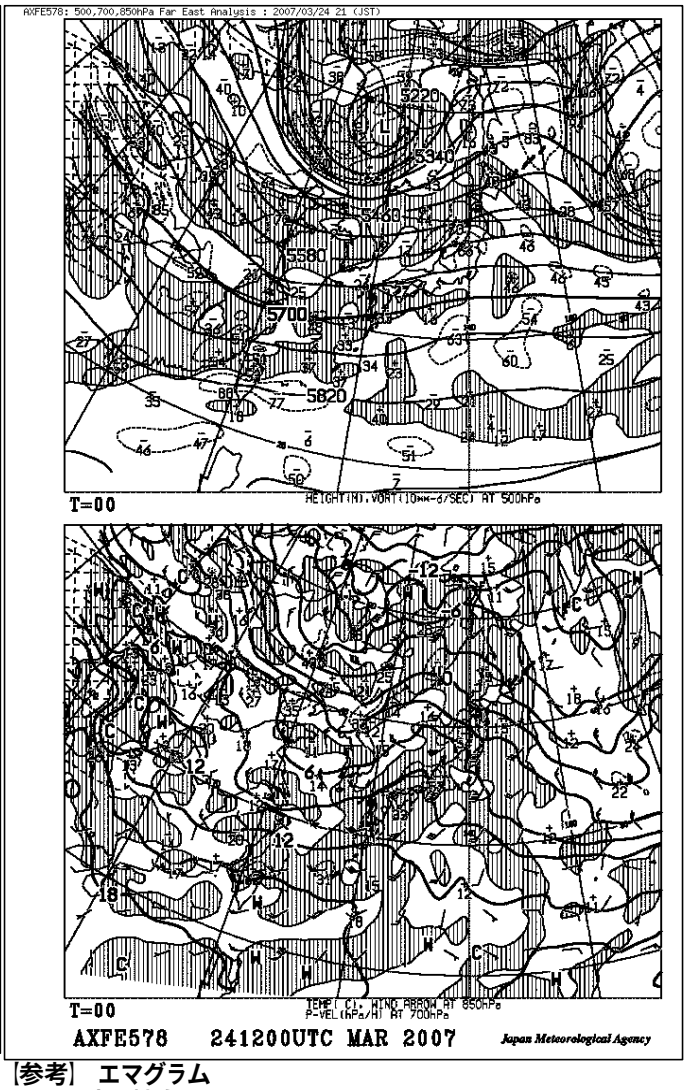
以上から、23日から24日の日中にかけてはダクト発生条件はそろいやすい条件にあったものと考えられます。

500hpa面高度と渦度･700hpa面鉛直流と850hpa面気温

23日21時

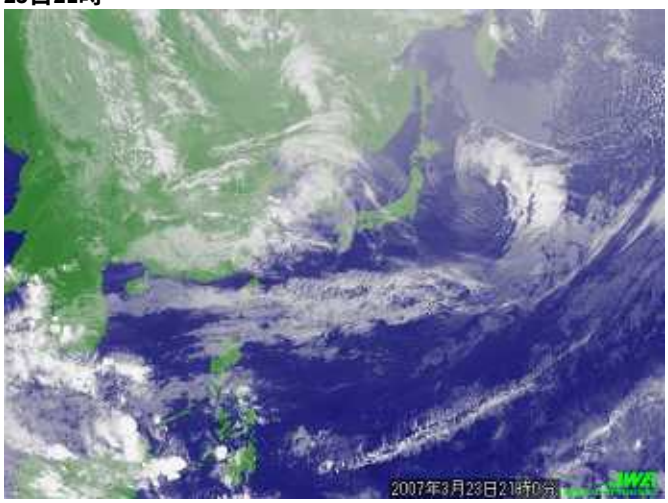


24日21時



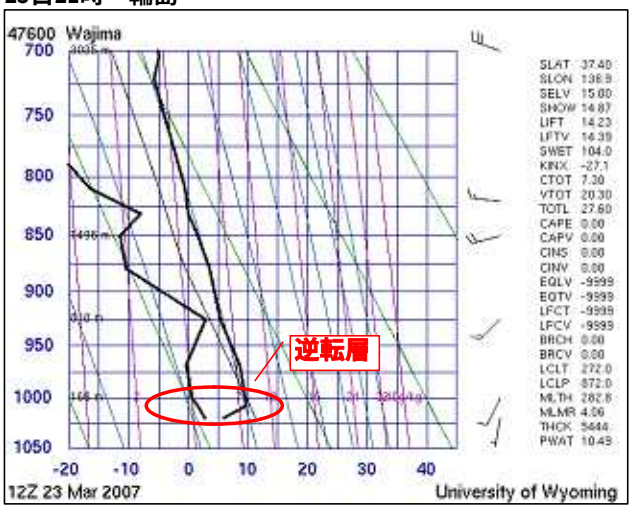
【参考】 赤外線雲画像

23日21時

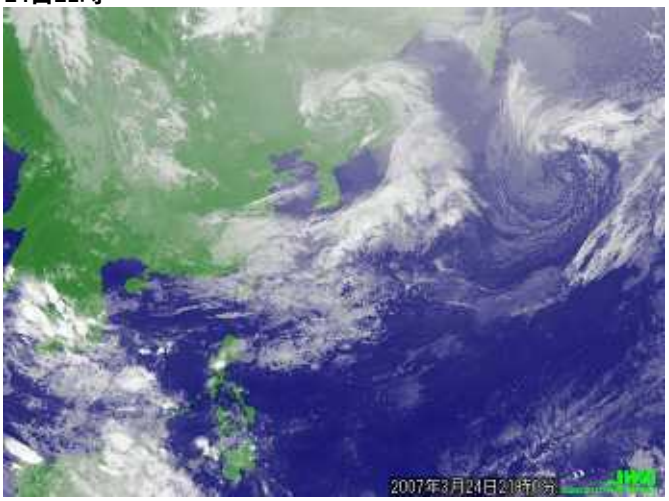
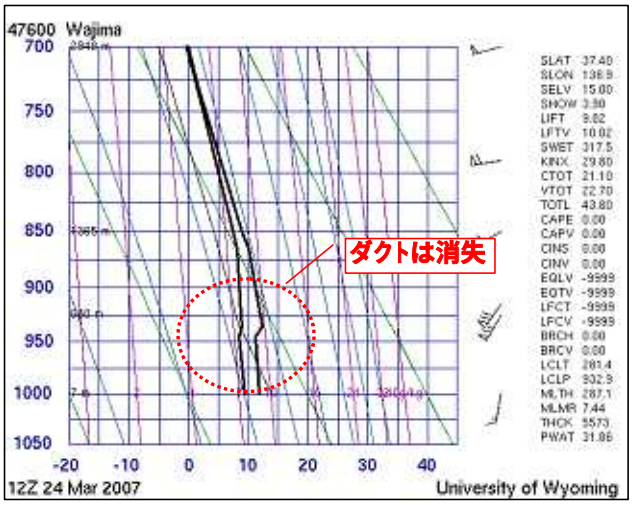


【参考】 エマグラム

23日21時　輪島



24日21時



24日21時　輪島